

令和7年度 前期学校評価の結果について

7月に実施致しました「学校評価アンケート（前期）」へのご協力、ありがとうございました。本校では毎年、学校と家庭が双方向の関係性を構築し、互いに高め合い、それぞれの立場から子どもの豊かな学びと育ちを実現するために、年に2回、保護者の方々へのアンケートにご協力いただいています。

本校は京都市の「令和7年度 学校教育の重点」における「重視する視点」に基づき、学校教育目標に「心豊かに たくましく 自ら学び 自ら律する 花園の子」を掲げ、日々教育活動に取り組んでいます。今年も「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の大きく3つの項目についてご回答いただき、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。みなさまからいただいた貴重なご意見とともに、今後の教育活動の充実に努めてまいります。

今後ともご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

アンケート集計結果(数字は%、質問文は児童用のアンケートのもの)

「確かな学力」

この項目は、本校教育活動における主に基礎的・基本的な知識・技能の習得および、探究活動を通した主体的・対話的で深い学びの実現に関わる内容となります。

	低学年児童		保護者	低学年児童		保護者	低学年児童		保護者
	高学年児童			高学年児童			高学年児童		
	そう思う		大体そう思う		あまりそう思わない		そう思わない		
学校や家庭で、楽しく学習している。	57	31	27	55	11	12	5	2	
	41		50		8		1		
授業がよくわかる。	41	21	40	58	12	19	7	2	
	49		48		1		2		
授業中、先生や友達の話最後までしっかり聞いている。	57	19	35	58	5	23	3	0	
	33		61		5		1		
めあてや目標をもって学習に取り組んでいる。	59	16	25	58	11	25	5	1	
	35		49		15		1		
授業中、自分から進んで発表している。	62	23	19	44	12	29	7	4	
	33		33		25		9		
家庭学習や宿題を自分から進んでしている。	52	25	38	39	11	30	9	6	
	51		33		9		7		

本をよく読んでいる。	58	26	31	29	6	33	5	12
	38		37		16		9	
忘れ物なく自分で学習の準備ができている。	56	28	34	41	5	25	5	6
	25		50		17		8	



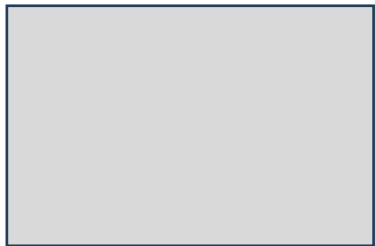
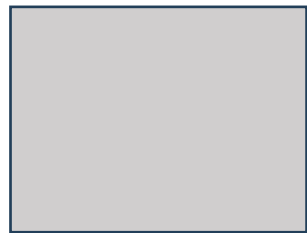
『学校や家庭で楽しく学習している。』『家庭学習や宿題を自分から進んでしている。』

『学校や家庭で楽しく学習している。』の項目では、「そう思う」「大体そう思う」を合計した肯定的な回答の割合が、低学年児童に関しては84%、高学年児童に関しては91%、保護者に関しては86%という結果でした。花園小学校では「対話」を研究主題としていて「学びを深め合う」学習集団形成を目標に、授業研修会を行うなど、授業づくりについて努めております。「楽しく学ぶ」は、「主体的な学び」の根底です。教員が評価するだけでなく、子ども同士でも「お互いの良さを見つけ、高め合う」ことの成果が表れていると思われます。

『家庭学習や宿題を自分から進んでしている』の項目では、低学年では90%、高学年では84%の児童たちが肯定的な回答しました。しかし一方で、保護者の方々の回答は、肯定的な回答が64%に留まり、36%の回答が否定的なものでした。児童たちが家庭学習や宿題を行うにあたって、保護者の方々のお声掛けがあって宿題等に取り組んでいることがうかがえます。復習をすることで学習の定着を図るための宿題は、大切な「習慣」です。9月に行いました「生活ふりかえり週間」では、スマートフォンの使用や動画の視聴、テレビゲームなどに一日2時間近い、もしくはそれ以上の時間を割いているというような結果がありました。家庭における時間の過ごし方を見直すことで学習する時間を確保し、学習習慣が身につけていけるよう、ご家庭と連携を図っていきたいと思います。家庭学習の大切さや内容・方法については、日々学校でも伝えてはいますが、改めて、よりわかりやすく伝えていく必要性を感じました。

『本をよく読んでいる。』

肯定的な回答の割合が、低学年児童に関しては90%、高学年児童に関しては75%という結果になりました。昨年度と比較すると、肯定的な回答のポイントが上昇しています。花園小学校では、毎朝の常時間での読書の時間の確保、年3回の読書週間における読み聞かせや図書委員会の活動、毎月16日の親子読書の実施など、読書推進への取り組みを行っています。今後も、素敵な本との出会い、読書の楽しさに触れる機会を通して、より本に親しんほしいです。



「豊かな心」

この項目は、本校教育活動における、主に道徳教育の充実、規範意識の育成、支え合い、高め合う集団づくりの推進と絆づくりに関わる内容となります。

	低学年児童		保護者	低学年児童		保護者	低学年児童		保護者
	高学年児童			高学年児童			高学年児童		
	そう思う		大体そう思う		あまりそう思わない		そう思わない		
自分から進んであいさつが できている。	54	21	35	48	5	28	6	3	
	51		36		9		4		
こまったことがあれば、周 りの人に相談している。	64	23	21	56	9	20	6	1	
	36		41		16		7		
家で学校であつたできごと をお家の人に話している。	63	27	21	63	10	8	6	2	
	45		39		15		1		
自分には良いところがあ ると思う。	58	14	27	66	5	20	10	0	
	39		43		11		7		
難しいと思うことにも失敗 をおそれず挑戦している。	62	13	22	55	5	30	11	2	
	34		46		13		7		
学級や学年の仲間と学校 で仲良く過ごしている。	67	39	22	59	7	2	4	0	
	67		27		4		2		
係や掃除・給食当番の仕 事に責任をもって取り組ん でいる。	80	16	14	46	1	37	5	1	
	58		41		1		0		
学校の物や勉強道具を大 切にしている。	69	17	22	46	5	31	4	6	
	58		40		2		0		

『学級や学年の仲間と学校で仲良く過ごしている』

低学年児童に関しては89%、高学年児童に関しては94%と、肯定的な回答をした児童が多くみられています。花園小学校では、異年齢で構成された「たてわり活動」や登校班、委員会活動やクラブ活動やそうじなど、さまざまな活動において学年を超えた関わりの場面を多く取り入れています。特に「たてわり活動」においては毎週月曜日のロング昼休みを利用して『たてわりあそび』の日を定期的に設定しています。異学年交流の中で優しくしてもらったり、助けてもらったりと、自分が経験したことで、今度は自分が困っている友達に優しくしようと豊かな人間関係を構築したいという気持ちに繋がっていることが考えられます。また、花園小学校は194名の学校です。だからこそ学級や学年、学校全体でも関わりが濃く、それがこの結果につながっていると考えられます。これからも、花園小学校の良さである、互いに支え合い、高め合うような集団づくりを目指していきます。

『自分には良いところがあると思う。』

肯定的な回答が、低学年の児童に関しては85%、高学年児童に関しては82%という回答結果でした。一見すると大きな差ではないように見えますが、自己肯定感のわずかな低下が読み取れます。高学年になるにつれて発達段階における自己認識の変化や周囲との比較が増えることが影響している可能性が挙げられます。また、高学年になると、友人関係や学業成績などの影響を受けやすくなり、他者との比較で自分を肯定的に見ることが難しくなる場面が増えることも挙げられます。このような傾向を踏まえ、「自己の良さを見つける活動」や「承認の機会」を意識的に増やすことが求められます。花園小学校では、「対話」と通した「自己肯定感の向上」を目指し教職員で授業研究を深めています。この結果をもとに、今後の授業づくりの改善に生かしていきたいと思います。



『難しいと思うことにも失敗を恐れず挑戦している。』

肯定的な回答が、低学年児童に関しては84%、高学年児童に関しては80%でしたが、一方で保護者の方は68%に留まるという結果でした。これは、児童と保護者の「挑戦に対する意識のギャップ」を示す結果であることが窺えます。児童自身は「失敗を恐れずに挑戦している」と感じる割合が高い一方で、保護者の方の認識はそれよりもかなり低いことが注目ポイントです。保護者の方の評価が児童よりも大きく低いのは、家庭での様子や挑戦の場面が見えにくいことが要因であるかも知れません。低学年・高学年ともに80%以上が「挑戦している」と感じており、花園小学校内での取り組みや雰囲気挑戦を後押ししているのかも知れません。また、高学年ではやや減少傾向にあることは、自己肯定感と同様に、年齢が上がるにつれて周囲の目が気になったり、失敗への不安を抱きやすくなったりとすることが考えられます。

この結果を踏まえて、学校と保護者の方との認識共有が必要であることが見えてきました。学校での挑戦活動（例えば発表や創作活動、実験など）を保護者の方に具体的に伝える機会を増やしていきたいです。学校だよりや学級だより、ホームページなど、情報発信に、より努めていこうと思います。併せて、花園小学校においては、今後も、失敗を肯定的にとらえる授業や安心して挑戦できる環境づくりにも努めていきます。

『学校の物や勉強道具を大切にしている。』

肯定的な回答が、低学年児童に関しては91%、高学年児童に関しては98%でしたが、一方で保護者の方は63%に留まるという結果でした。高学年になるにつれて、児童の「物を大切にする意識」がさらに高まっているのはポジティブな傾向であると言えます。責任感や自律性が育っている証です。しかし一方で、保護者の方の評価が低いのは、家庭での様子（例えば教科書の扱い方や整理整頓など）から「大切にしていない」と案じておられる可能性があるかも知れません。学校内での机の中の整理や教材の扱い方、友達との共有などは、なかなか見えにくい部分でもあります。先ほどの項目と同様に、保護者の方に懇談会や学級通信などで積極的に情報を共有していく必要性が感じられます。

「健やかな体」「地域」

この項目は、保健教育・安全教育の充実、および地域への親しみや愛情に関わる内容となります。

	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者
	高学年児童		高学年児童		高学年児童		高学年児童	
	そう思う		大体そう思う		あまりそう思わない		そう思わない	
学校や放課後、安全に気を付けて行動している。	63	30	27	57	5	13	5	0
	65		33		1		1	
学校や家での決まりを守っている。	48	15	40	66	10	17	2	2
	45		50		5		0	
自分や友だちの心や体を大切にしている。	78	38	15	56	5	6	2	0
	63		36		1		0	

	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者
	高学年児童		高学年児童		高学年児童		高学年児童	
	そう思う		大体そう思う		あまりそう思わない		そう思わない	
花園小学校の地域のことが好きだ。	81	47	11	52	5	1	3	0
	66		27		6		1	

「学校や家での決まりを守っている。」

肯定的な回答が、低学年児童に関しては88%、高学年児童に関しては95%でした。この結果より、高学年の方がルール遵守率が高く、成長に伴い社会的ルールや集団生活への理解が深まっていることが窺えます。低学年でも高い遵守率となっており、教育環境やご家庭でのお声かけやご教育の成果が表れていると思われます。児童の規範意識は学年が上がるにつれて向上していることは素晴らしいです。低学年に向けては改めてルールの「意味」を理解する活動に力を入れていきたいと思います。また、

「自分や友だちの心や体を大切にしている。」

肯定的な回答が、低学年児童に関しては95%、高学年児童に関しては99%、保護者の方に関しては94%と高い水準を保っています。花園小学校の児童は、自他の心身を大切にする意識が非常に高いです。これは、日々の道徳教育や人権教育、生活指導の積み重ねによる成果と考えられます。今後は、この意識を具体的な行動に結び付ける支援をさらに充実していきます。

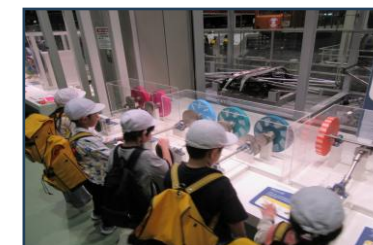
「花園小学校の地域のことが好きだ。」

今年度も「アイ ラブ 花園！」を合言葉に子どもたちが花園小学校、花園小学校地域のことを好きになれるような取組を進めています。これまでの積み重ねの結果より、花園小学校の児童の多くが地域の方々に親しみを感じており、肯定的な回答が、低学年児童に関しては95%、高学年児童に関しては99%、保護者の方に関しては94%と、非常に高い率です。これは、地域の見守り活動や交流行事などを通じて、温かい関係が築かれていることの表れです。今後も地域との連携を深め、児童の社会性や感謝の心を育てています。

自由記述より

- 本人の課題やできていない箇所が、よく見えた1学期でした。改善していけるように、親がするサポートの仕方を考えて、これからの成長を見守りたいと思っています。
- 家では、学校より甘えが出るのか、感情のコントロールが難しい様子です。すべきことを理解はできるようなので、少しずつ行動にうつせるようにサポートをしていきたいと思います。
- 低学年のときと比べ、生活態度や学習への取り組み方等に進歩が見られず、言われたことを漫然とやっているように見受けられました。

みなさまからいただいた貴重なご意見につきましては、全て拝読し、今後の参考とさせていただきます。なお、紙面の都合上、自由記述欄にご記入いただいた一部の掲載となりましたことを了承いただきますようお願い申し上げます。



以上、前期学校評価について、各項目の分析を行いました。アンケート結果につきましては、学校評価委員会および校内で分析を行い、今後の本校教育活動の改善につなげて参ります。本校の教育活動は、保護者の皆様の深いご理解と温かいご支援に支えられています。日々の家庭での声かけや生活習慣の定着、学校行事への積極的なご参加など、児童の健やかな成長に欠かせない力となっております。今後も、学校と家庭が連携しながら、よりよい教育環境の構築に努めてまいります。

12月の学校評価アンケート(後期)もご協力よろしくお願い申し上げます。

